



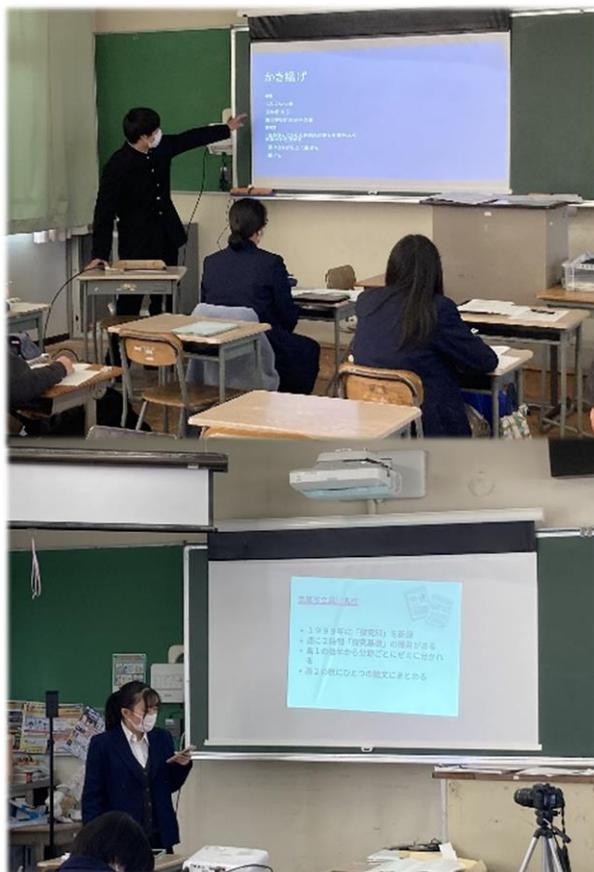
2月8日(木)、2年生は、「個人探究発表会」、1年生は、いなっせ6階で「キャリア・インタビュー」がありました。ともに総合的な探究の時間の授業の一環です。

2年生の個人探究発表会は、2日間にわたって全員が発表しました。その2日目を見ることができました。

2年生のすべての生徒の発表が見られなくて残念でしたが、いくつかの教室を回って一部見ることができました。1年生の時はグループ探究、2年生になって個人探究となり、それぞれが、自分の「なぜ？」について、自分なりに調べ考察していました。

「昆虫食を身近に」というテーマでは、「2050年にタンパク質危機になると言われている」ということから、タンパク質となる昆虫を調理してみたという発表でした。以前にも2年生がザザムシをから揚げにしたものを試食して、それを画像に撮り伊那ケーブルテレビの番組で流したということがありましたが、そのときのことを思い出しました。

その他に、毎年悩まされている「花粉症対策でいい方法とは」というテーマ、「弥生版の探究とは何か」というテーマなどがありました。取り上げられていた課題は、社会的な課題から個人的な課題、身近な課題と様々であり、もっと聞いてみたいという気持ちが湧きました。



キャリア・インタビューは、38人の地域の企業人、公務員、店主、大学生などの講師

が、高校時代に情熱を向けていたモノ・コト、今取り組んでいる「問い」や「課題」といったことを示し、生徒は興味・関心のある講師のところに行って質問をして話を聞くというもので、質問力を磨く狙いがあります。

前のめりになって質問している姿や1対1で聞き入っている姿、もう一度聞きたくて再び同じ講師のところに行っている姿など講師の話を聞いて学ぼうとする素晴らしい姿を見ることが

できました。講師の方からは、「回答に困るような鋭い質問も受けた」「高校生と話すことも少ないので勉強になった」との感想を伺いました。

